

令和2年2月16日
第45回札幌市医師会医学会

民間の単科精神科病院に おける精神鑑定126件の検討

医療法人社団 五稜会病院

中島公博、貴志昌矢、窪田 誠、
山口 択、富永英俊、千丈雅徳

開示すべきCOIはない

はじめに

- * 五稜会病院では社会貢献として司法精神医療にも関与し、演者は医療観察法の精神保健審判員を担うとともに平成19年からは精神鑑定業務を行っている
- * 今回、司法との関わりや鑑定上の問題などを考察した

司法精神医療に関わる際の問題

- ▶ 司法精神医療の知識不足
- ▶ 研修機会が少ない
- ▶ 精神鑑定をしていても、その後の検討作業の機会がない
- ▶ 司法関係者との問題を共有することが少ない
 - ▶ 日本司法精神医学会（平成17年）
 - ▶ 北海道法と医学の懇話会（平成20年発足） 休会中
 - ▶ 刑事精神鑑定ワークショップ^o（平成21年から開始）

当院での司法精神医療の実績

- ▶ 平成17年7月 医療観察法施行
 - 同時に判定医2名、参与員1名
- ▶ 平成19年～ 精神鑑定業務開始
- ▶ 平成20年～ 医療観察法鑑定入院
- ▶ 平成21年 第1回刑事精神鑑定ワークショップ研修
- ▶ 平成27年1月 第3回司法精神医学研修会
- ▶ 平成28年6月 第8回刑事精神鑑定事例検討会
- ▶ 平成30年4月 日本司法精神医学会認定鑑定医

演者の精神鑑定例

医療観察		簡易鑑定	本鑑定		総計
(判定医)	鑑定入院	簡易鑑定	起訴前	裁判所嘱託	鑑定
(17)	9	75	38	4	126
26		75	42		

126件の精神鑑定 内訳

分類	医療観察		簡易鑑定	本鑑定	総計	分類	医療観察		簡易鑑定	本鑑定	総計
	判定医	鑑定入院					判定医	鑑定入院			
総計	17	9	75	42	126	傷害	6	4	13	4	21
男	11	7	46	32	85	窃盗			17	2	19
女	6	2	29	10	41	殺人		1	1	13	15
F0	2		1	4	7	殺人未遂	1	2	4	9	15
F1	1		7	14	22	現住建造物放火	8	1	4	7	12
F2	9	8	21	7	45	強制わいせつ致傷			7	3	10
F3	3		7	7	17	器物損壊・破損			8		8
F4	1		10	6	17	強盗	1		5		5
F5			3		3	公務執行妨害	1		2	1	3
F6			5		5	暴行			3		3
F7	1	1	16	4	22	詐欺			3		3
F8			4		4	スター規制法違反			2		2
F9			1		1	覚醒剤所持		1		1	2
						道路交通法違反			1	1	2
						死体遺棄			1		1
						銃刀法所持違反			1		1
						火薬類取締法違反			1		1
						証人威迫			1		1
						住居侵入			1		1
						無賃乗車				1	1
						総計	17	9	75	42	126

F2(統合失調症圏)、F3(気分障害圏)、F7(精神遅滞)が多い。本鑑定では飲酒絡みが多い。犯罪別では、傷害、窃盗、殺人、殺人未遂、現住建造物放火が多い。本鑑定では殺人が最多。簡易鑑定は2時間、本鑑定では2か月の入院。鑑定書は10～20頁。かなりの労力である。鑑定後の被疑者・被告人の処遇の連絡がないのが大多数。鑑定内容のフィードバックができない。

医療観察法鑑定入院 9件

No	年齢	性	罪名	起訴前 鑑定診断	医療観察法 鑑定診断	鑑定人 意見	医療観察 決定	問題点	鑑定 日数	事件からの 決定日数
1	60代	男	殺人未遂 心神喪失で 不起訴	妄想型 統合失調症	妄想型 統合失調症	医療観察法に よる入院	医療観察法によ る入院	沖縄へ	31	51
2	50代	男	傷害 心神喪失で 不起訴	妄想型 統合失調症	鑑別不能型 統合失調症	医療観察法に よる入院	医療観察法によ る入院	佐賀へ	31	52
3	60代	男	傷害 心神喪失で 不起訴	妄想型 統合失調症	妄想型 統合失調症	医療観察法に よる入院	医療観察法によ る入院	花巻へ 鑑定後、特定医療 施設として入院	31	110
4	70代	男	殺人未遂 心神喪失で 不起訴	妄想型 統合失調症	妄想型 統合失調症	医療観察法に よる入院	医療観察法によ る入院	東京へ	34	110
5	50代	女	現住建造物放火 心神喪失で 不起訴	妄想型 統合失調症	妄想型 統合失調症 +F70	医療観察法に よる外来	医療観察法、入 院によらない医療	2年前の事件	31	697
6	20代	男	殺人 心神喪失で 不起訴	妄想型 統合失調症	妄想型 統合失調症	医療観察法に よる入院	医療観察法によ る入院	嫉妬で年上恋人 殺し、心神喪失？	31	150
7	30代	男	殺人未遂 心神喪失で 不起訴	破瓜型 統合失調症	残遺型 統合失調症	医療観察法に よる入院	医療観察法によ る入院	肛門周囲膿瘍で 転院、上告、審理 やり直し、再入院	36	155 433（再審）
8	30代	男	傷害 心神喪失で 不起訴	妄想型 統合失調症	妄想型 統合失調症 +F70	医療観察法に よる入院	医療観察法によ る入院	再入院・犯罪なし 調整官主導	30	1791 2回目
9	30代	女	傷害 心神喪失で 不起訴	精神遅滞	精神遅滞 F70	医療観察法に よる外来	医療観察法、入 院によらない医療	精神遅滞では治 療反応性がない。 適応障害を加味	33	59

- 9件実施。いずれも心神喪失で不起訴処分、医療観察法の対象。1例で精神遅滞のみ。
- 鑑定医の意見に、裁判所も同様の決定がされている。審判日に裁判所に出頭したことはない。
- 対象事件から決定まで長い。1例で入院後に抗告で再審・再入院。1例は2回目の審判。

考察

- ▶ 是非弁別能力の判断について
 - ▶ 司法と精神科医の間での基準が一致していない。明確な指標がない。
- ▶ 鑑定後、被疑者の処遇の確認
 - ▶ 検察、裁判所から鑑定医への連絡は殆どなし
 - ▶ 鑑定書がどのように利用されているのか、鑑定書のフィードバックがない。
- ▶ 裁判所に出廷するのは負担
 - ▶ 裁判員制度では精神科の素人である裁判員への説明の仕方が難しい。
- ▶ 精神鑑定の研修
 - ▶ 平成20年から【司法と精神医学の懇話会】が出来たが、休会中。

まとめ・文献

- 当院での司法精神医療の現状を報告した。
- 精神鑑定は社会に対する貢献と精神医学を見つめ直す契機になる。
- 人的な労力や司法関係者との協議する場が少ない等、問題がある。
- ▶ 中島公博他：民間の単科精神科病院における司法精神医療の関わり
札幌市医師会医学会誌37,2012